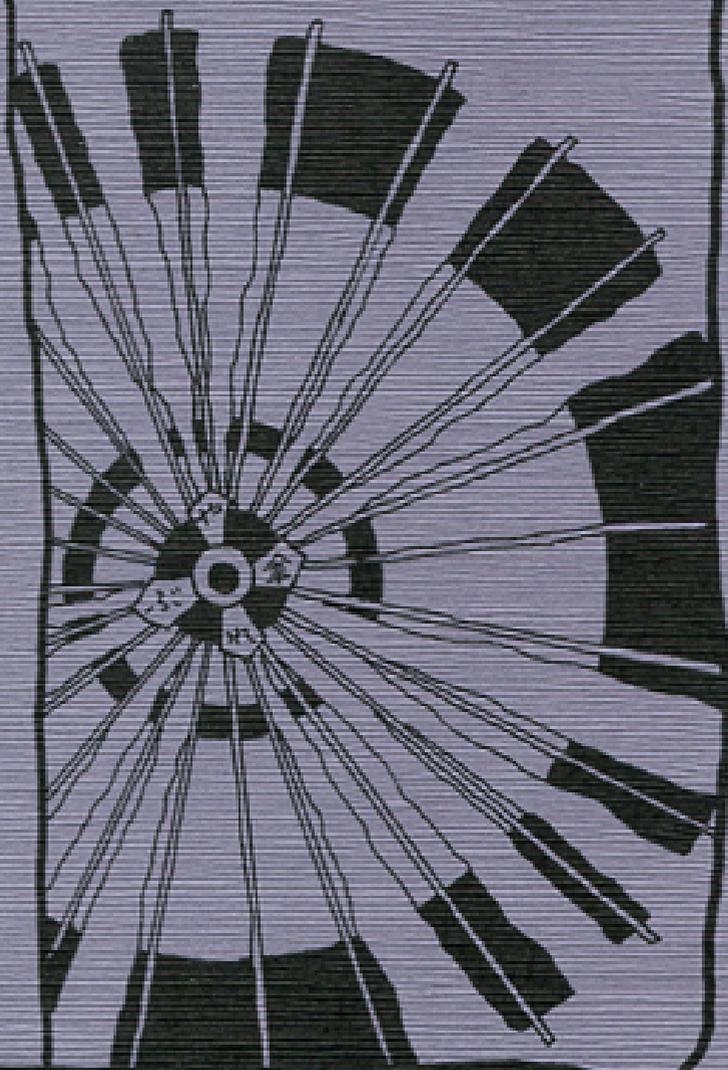


やぶれ傘



六十六号

二〇二二年六月

雲ゆきにり一列の葱坊主
 白子井やうやう飯の現はるる
 もぢやもぢやの中より蓬芽吹きけり
 淡雪を文字盤に乗せ花時計
 朝粥の小鉢の小梅旅の春
 山吹の取り囲みたる石切り場
 よちよちと歩む子の居て青き踏む
 ゆるやかにまはる風車や青き踏む
 土寄せをしたき畑や春の雨
 城濠に映るあをぞら啄木忌
 畦道へ攪網の泥ごと春の鮒
 窓越しに雀の声を浅蜷汁
 三月の厨に並ぶ空の瓶
 川岸の薄水棒で押しやつて
 川風に吹かれに春のドナウへと

根橋宏次
 きくちきみえ
 大島英昭
 瀬島酒望
 丑久保勲
 藤井美晴
 廣瀬雅男
 渡邊孝彦
 白石正躬
 久世孝雄
 安藤久美子
 天野美登里
 國保八江
 有賀昌子
 松村光典

抄 集 句 選 夫 紀 大 崎 傘 ぶ れ や

姉妹姪とその子に桜咲く
 げんげほつほつ休耕田の緑増す
 手に取りし本より埃春時雨
 バスの窓過りてゆけりしやぼんだま
 日ざしにも日のかげりにも春の色
 蝌蚪生まる鳥の和毛の散るところ
 一巡りして白梅に佇めり
 雪しまく芝居の熱気冷めぬ身に
 野球帽に溢るるほどの露の臺
 舞殿に顔知る童女鎮花祭
 アフリカは残暑とメール春の雪
 露の芽や溪流釣りの禁とかれ
 鶯の声など真似て峽の郷
 枸杞青むB29の墜落地
 雪掻きの色とりどりのシャベルかな

菊地葉子
 忽那みさ子
 小山陽子
 齋藤朋子
 武田紀久
 時田義勝
 都丸スミ代
 中村則夫
 野口希代志
 橋本美代
 広瀬 濟
 秋山信行
 阿久澤利男
 小川 滋
 奥田温子

虻の昼

大崎紀夫

春荒れの鶏小屋に鶏坐しゐたる
春の月丸し巡洋艦の上
初蝶の浜の流木越えにけり
島裏に風よけ港さくら鯛
鰐口の紐切れてゐる虻の昼

物置の屋根に網干す花なづな
伏流水湧き春水としてゆけり
夕がすみ飛行船よりロープ垂れ
つばくらめ市電の先を抜けにけり
春昼の空地に猫と紙皿と
かすみ濃きなかよりこだま戻りくる
雲しろし雀の槍を尻に敷き

神田川

根橋宏次

紅梅やテントに雑器売られゐる
翔ぶやうなかたちに雲やつくしんぼ
打ち欠いて量る葛粉や春の屋
裏庭は川へ降りゆく土佐水木
べつかふの耳かきつかふ目借時
なに摘むとなくねころんで春の雲
桜蕊降る潮の香の神田川
雲ゆきにけり二列の葱坊主

義姉

七七日すぎゆく都忘れかな
葉桜や扉大きく格納庫

白子井

きくちきみえ

街灯の切れさう梅の花咲きさう
葉わさびやビンごと冷す土地の酒
足場組む音のガタピシ花なづな
桜蕊降るビニールの傘の張り
甘納豆こぼれ蛙のめかり時
白子井やうやう飯の現はるる
たんぽぽに正午の日差し池に亀
たまたまといへばたまたま土筆摘む
山風の線路横切る諸葛菜
花冷えの川辺に椅子のごとき石

水溜り

大島英昭

本殿の屋根に枝影春北風
舞殿の壁に剥げ跡梅かをる
春めくや路地に連なる水溜り
もぢやもぢやの中より蓬芽吹きけり
暖かや足で胸搔くきつね猿
とびとびの雀がくれとなりぬたる
切株の罅割れてゐる日永かな
御籤引く音のからころ初桜
降りさうな空より燕来たりけり
乾びたる土に足跡母子草

旅の春

丑久保勲

春の夜の電車のドアのボタン押す
指で刷く鏡の結露春寒し
朝粥の小鉢の小梅旅の春
ゆるゆるの袖の釦や春の朝
旅の地で道訊ねらる梅の花
デモ隊のときをり途切れ春の昼
駅ホーム四本見通す春の昼
下る船上る船来る濃山吹
パソコンを点けて待つ間の百千鳥
立ち飲みで啜るコーヒー夏近し

石切り場

藤井美晴

バス停のトタンの屋根に春の雨
山吹の取り囲みたる石切り場
広々と私鉄駅前れんげ咲く
河骨の黄にまじりけのなかりけり
筒鳥や山峡に雲立ち込めて
山鳩の鳴ける卵の花腐しかな

蘇州四句

酔ひ少し残れる春の寝覚めかな
白^{どろ}の^の楊^きの巢に鵲の帰りけり
緑陰に見^{まみ}ゆ寒山拾得凶
菜の花の畑の果てに没る日かな

浅間山

廣瀬雅男

石段を数へて登る梅の寺
鶯や木々の向かうに浅間山
よちよちと歩む子の居て青き踏む
野蒜洗へば白き玉ひかりけり
土筆摘む昨夜の雨は今朝晴れて
野すみれや男体山を遠く見る
目の前に辛夷咲く山露天風呂
止みさうな雨咲きさうな桜かな
廃校の動かぬ時計花の昼
支へ木を越ゆるゑんどう豆の花

淡雪

瀬島洒望

淡雪を文字盤に乗せ花時計
紅梅や伏籠ふせごの中の軍鶏の声
本丸の跡なる雀隠れかな
強東風や旗竿叩く旗のひも
コンテナー載せぬ貨車行く鼓草
永き日や堆肥を運ぶ一輪車
逃水や起伏うきふ少なき道続く
永き日や異人を描く包装紙
県道へ抜ける道らし山笑ふ
糸遊や音遠ざかる救急車

春の雨

白石正躬

芽吹きせる雑木の山をぶらつきて
はればれと春の信濃に鳶の声
土手に沿ひまだらに花菜盛りかな
青草の中おちこちの鼓草
囀りのじよじよに膨らむ夜明けかな
土寄せをしたき畑や春の雨
花過ぎの並木を風の過ぎりけり
落花舞ふ中のたこ焼き屋台かな
晴れといふこともなき空躑躅咲く
春逝くや渡船は長く水脈をひき

◇ 7月・8月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
7月	3日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	3日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	4日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	25日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	28日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
8月	3日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	3日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	6日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	7日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島 孟
	18日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	19日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	皇居・東御苑	丑久保 勲
	22日(水)	PM6:00	三斗会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	25日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
	26日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

8月19日(日)の吟行。集合は10時。皇居・大手高麗門(パレスホテルの前の濠を渡ったところ)。地下鉄各線の大手町駅が便利。句会場は森下文化センター。

◎連絡先 瀬島 孟 ☎048-862-2757 藤井美晴 ☎0422-55-2733
 大島英昭 ☎048-592-5041 WEP編集室 ☎03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎048-443-7522 浦和コミセン ☎048-887-6565
 丑久保 勲 ☎048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ